

サイバー犯罪対策通信 第9号

令和元年 5月 22日
愛知県警察本部
サイバー犯罪対策課

IPA発表

情報セキュリティ 10大脅威2019

紹介するニャ!!
傾向を見てみよう



IPAとは

独立行政法人情報処理推進機構のことで、IT社会の潮流や技術動向を捉え、社会課題の解決や産業の発展につながる指針を示し、情報セキュリティ対策の強化や、優れたIT人材を育成するための取り組みをしている機関です。

情報セキュリティ10大脅威2019とは

2018年に発生した社会的に影響が大きかったと考えられる情報セキュリティにおける事案から、IPAが脅威候補を選出し、情報セキュリティ分野の研究者、企業の実務担当者など約120名が審議・投票を行い決定したもので、毎年行われ発表されています。

順位	個人	前年 順位	組織	前年 順位
1位	クレジットカード情報の不正利用	※1位	標的型攻撃による被害	1位
2位	フィッシングによる個人情報等の詐取	※1位	ビジネスメール詐欺による被害	3位
3位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	4位	ランサムウェアによる被害	2位
4位	メール等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	NEW	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃の高まり	NEW
5位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	3位	内部不正による情報漏えい	8位
6位	偽警告によるインターネット詐欺	10位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	9位
7位	インターネットバンキングの不正利用	※1位	インターネットサービスからの個人情報の窃取	6位
8位	インターネットサービスへの不正ログイン	5位	IoT機器の脆弱性の顕在化	7位
9位	ランサムウェアによる被害	2位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	4位
10位	IoT機器の不適切な管理	9位	不注意による情報漏えい	12位

※クレジットカード被害の増加とフィッシング手口の多様化に鑑み、2018年個人1位の「インターネットバンキングやクレジットカード情報等の不正利用」を本年から、①クレジットカード情報の不正利用、②フィッシングによる個人情報等の詐取、③インターネットバンキングの不正利用、④仮想通貨交換所を狙った攻撃、⑤仮想通貨採掘に加担させる手口、に分割。

引用：IPA「情報セキュリティ10大脅威2019」

サイバ課長、
どうしたらいいので
しょう??

2年連続、変わらず上位の脅威もあれば、NEWと記されているように新たに
ランクインした脅威もあるわ。
サイバー犯罪は常に新手の手口で巧妙化してきているのね。

対策しよう!!

パスワードの強化!
ウイルス対策ソフトの最新化!
OSやソフトウェアは常に最新に!
身に覚えのない添付ファイルは開かない!

これは個人・組織とも
に情報セキュリティ
対策の基本だニャ!!

